



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和8年4月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和8年4月13日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 渋川市と赤城自然園との連携協定による催しなどを紹介します(資料1)
- 2 4月18日(土)に「しぶかわ桜まつり」を開催します(資料2)
- 3 物価高騰支援として渋Payカードを全市民に配付します(資料3)
- 4 「こども誰でも通園事業」の本格実施を開始しました(資料4)
- 5 渋川市内の駅から通学定期券を利用して大学等へ通学する学生を応援する「渋川市大学生等通学応援事業」の補助対象を拡大して実施します(資料5)
- 6 上三原田の歌舞伎舞台「創建者150年大遠忌^{だいおんき}公演」への寄附を募集しています(資料6)
- 7 全職員が広報広聴活動に取り組むための「渋川市広報広聴戦略プラン2.0」を策定しました(資料7)
- 8 誰もが受け取りやすい情報発信に向けて多様性の視点に配慮した公的広報の手引きを策定しました(資料8)

その他資料提供

- ・しぶかわ電子地域通貨「渋Pay」1%応援金の活用状況をお知らせします(資料9)
- ・渋川・伊香保温泉バリアフリーマップを改訂しました(資料10)
- ・渋川市武道館と渋川市赤城総合運動自然公園のネーミングライツパートナーと愛称が決まりました(資料11)
- ・渋川子ども歌舞伎教室の参加者を募集します(資料12)
- ・三国脇往還白井宿第33回彌酔の句会を開催します(資料13)
- ・「第38回小野上温泉まつり」を4月29日(水・祝)に開催します(資料14)

○次回開催予定

日時：令和8年4月27日(月) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
4月13日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	総合政策課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報課
	15:00	春の全国交通安全運動に係る一斉街頭指導	市民会館前	危機管理課
4月14日(火)	9:00	市長と職員との懇談	市役所本庁舎	秘書課
	13:30	市長と職員との懇談	市役所本庁舎	秘書課
4月15日(水)	14:00	第4回水道水のPFAS汚染から市民を守る会と渋川市の懇談	市役所本庁舎	水道課
4月16日(木)	9:00	市長と職員との懇談	市役所本庁舎	秘書課
	14:00	市長と職員との懇談	市役所本庁舎	秘書課
	19:00	渋川市子ども会育成会連絡協議会総会	市役所第二庁舎	生涯学習課
4月17日(金)	10:00	渋川市小口資金融資審査委員委嘱式	市役所第二庁舎	商工課
	16:00	群馬県市議会議長会定期総会	市民会館小ホール	議会議務局
	17:30	群馬県市議会議長会懇親会	ホテル天坊	議会議務局
4月18日(土)	11:00	しぶかわ桜まつり 記念植樹	渋川市総合公園	都市政策課
4月19日(日)	10:20	第25回白井宿八重ざくらまつり 出陣式	道の駅こもち	観光課
4月20日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	総合政策課
	19:00	渋川市交通指導隊懇親会	ホワイトパーク	危機管理課

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
4月20日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	総合政策課
	19:00	渋川市交通指導隊懇親会	ホワイトパーク	危機管理課
4月21日(火)	9:30	渋川・北群馬地区更生保護女性会定期総会	金島ふれあいセンター	社会福祉課
	18:00	渋川市白井宿ふるさと物産会 地場産品直売所利用組合総会	子持公民館	農林課
4月22日(水)	13:30	長寿者顕彰	市内	高齢福祉課
4月23日(木)	13:30	渋川市健康推進員委嘱式	市役所第二庁舎	健康増進課
	17:30	渋川地区自治会連合会歓送迎会	ホワイトパーク	市民協働推進課
4月24日(金)	13:30	渋川市食生活改善推進員連絡協議会定期総会	市役所第二庁舎	健康増進課
	終了後	渋川市女性団体連絡協議会定期総会	市役所第二庁舎	生涯学習課
	14:30	渋川市老人クラブ連合会定期総会	金島ふれあいセンター	高齢福祉課
4月25日(土)	9:00	第21回渋川市民スポーツ祭総合開会式・社会体育功労者賞表彰式	瑞穂建設スタジアム	スポーツ課
	13:30	群馬県青少年育成推進会議設立60周年記念大会	群馬県公社総合ビル	生涯学習課
	18:00	渋川市武道振興会総会及び懇親会	ホワイトパーク	スポーツ課
4月26日(日)	9:30	行幸田春祭り	行幸田甲波宿禰神社	市民協働推進課
	13:00	しぶかわ応援大使 清水博正コンサート	市民会館小ホール	広報課
4月27日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	総合政策課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報課

渋川市と赤城自然園との連携協定による催しなどを紹介します

渋川市は、赤城自然園と締結している包括連携協定の取り組みの一環として、「観光×環境×健康」をつなぐ、電動アシスト自転車「あじサイクル」を利用した催しを、春から秋までの期間で開催します。
合わせて、渋川市が全国に誇る赤城自然園の魅力を、肌で感じてもらえる催しなどを紹介します。

1 概要

渋川市と赤城自然園（運営：(株)クレディセゾン）は、緊密に連携しながら双方の資源を有効に活用することを目的として包括連携協定を締結しています。

この包括連携協定の取り組みの一環として「観光×環境×健康」をつなぐ催しとして、「ちゃりチャレ2026「赤城自然園」森までクライム」を行います。渋川市の雄大な景観を楽しんでもらいながら、環境負荷のかからない自転車による移動で健康増進につながります。

また、標高600mの赤城自然園は、癒し効果が科学的に実証された「森林セラピー基地」に認定されています。都会の喧騒を離れて、日常とは異なる自然体験と、訪れるたび新しい発見がある森を、存分に楽しめる催しを紹介します。

2 ちゃりチャレ2026「赤城自然園」森までクライム

期間中、電動アシスト自転車「あじサイクル」をレンタル（レンタル料：無料）して赤城自然園までのヒルクライムにチャレンジし、園内散策を楽しんでくれる人に赤城自然園ご招待券を進呈します。

- (1) 実施期間 令和8年4月25日(土)～11月29日(日)
※赤城自然園の休園日は除く
- (2) 受付場所 渋川駅前プラザ1階
- (3) 受付時間 午前9時～午後1時
※赤城自然園の入園時間は午後3時30分までです
(営業時間：午前9時～午後4時30分)
- (4) 対象者 あじサイクルで赤城自然園を目指す高校生以上の人
※写真付き身分証明書の提示が必要です
- (5) コース 渋川駅前プラザ（しぶさん）～赤城自然園
- (6) 予約 あじサイクル10台(スポーツタイプ5台、ママチャリタイプ5台)
のうち5台まで事前予約が可能です。
※貸出可能な自転車が無くなり次第受付終了となります
- (7) 予約受付 渋川駅前証明サービスコーナー
※受付時間：午前10時30分～午後7時（毎週火曜日を除く）
※電話番号：0279-24-0022
- (8) 注意事項
 - ①ご招待券のプレゼントは期間中1人3回までです
 - ②同日に複数回分の招待券を受け取ることはできません。1日に受け取れる招待券はその日の1回分のみです
 - ③荒天時はあじサイクルの貸し出しを中止する場合があります
 - ④あじサイクル以外の自転車での挑戦はちゃりチャレの該当になりません
 - ⑤乗り方により、赤城自然園到着前にバッテリーがなくなる場合もあります。あらかじめご承知おきください

3 「赤城自然園」の見どころや催しなど

(1) 「五感」で感じる赤城自然園の森の癒し

「視覚」、「聴覚」、「嗅覚」、「触覚」、「味覚」の五感を研ぎ澄ませば、森の生命力と静けさが、あなたの心と体を優しく包み込みます。

足元に広がる土の温もりを感じながら、ゆっくりと赤城自然園の森を歩けば、日常の喧騒から解放され、本来の自分を取り戻す、特別な時間が過ごせます。

(2) プログラム・ツアー・イベント

① 本日の見どころを紹介するプログラム

赤城自然園の成り立ちや当日の園内の見どころを案内する各種「園内ガイド」を毎日開催。

詳細は、総合案内所横のインフォメーションボードでご確認ください。

② 医師監修森林セラピープログラム

赤城自然園がお届けする「森deリトリート【要予約】」は、栄養専門の精神科医である奥平智之先生監修の本格的な森林セラピープログラムです。

プログラム中は、森林セラピーガイドの資格を持つスタッフが同行します。

また、今年度から、さらに気軽に森林セラピーを体験できる「森deリラックス」を新しく開催します。

③ ファミリー向けのプログラム

元群馬県立ぐんま昆虫の森 昆虫専門員 筒井学さんによる昆虫観察会を5月から9月まで毎月開催します。

④ 森を楽しむプログラム

ヨガやピラティス&リンパケア、森の中でのレッスンを開催しています。

また、群馬県を中心に活動しているオーボエ、サクソ奏者を招いた森のなかでの小さな演奏会を楽しめます。

※その他にも季節に応じてイベントを多数実施。予約制のイベント・プログラムについては、ホームページを確認の上、電話もしくは窓口でお申し込みください

(3) ゴールデンウィーク中の花の見どころ情報

① シャクナゲ（華やかな花を咲かせる低木で豪華絢爛な花姿が印象的です）

② ヤマツツジ（春の山野を鮮やかに彩るオレンジ色の美しい花が新緑に映えます）

③ ハンカチノキ（花についての白い大きな二枚の苞葉が特徴の落葉高木です）

4 記者会見出席者

赤城自然園 パークマネージャー 長澤 真人（ながさわ まさと）さん

参考

1 赤城自然園との連携協定

(1) 協定締結日 平成31年4月5日

(2) 概要

渋川市と赤城自然園を運営する株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区代表取締役COO：水野 克己）は、平成31年4月5日に連携協力に関する協定を締結しています。この協定は、双方の有する資源を有効に活用することにより、相互の発展及び充実に努めるとともに、地域社会の発展に資するものです。

この協定により、健康増進を目的とした森林セラピー基地としての活用や観光客の誘致による地域経済の活性化などを推進していきます。

2 赤城自然園について

赤城自然園（渋川市赤城町南赤城山892）は、(株)クレディセゾンが「次世代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐ」ため、平成22年から社会貢献活動の一環として運営し、平成30年4月から、通年開園を行っています。

園には、約500種の四季折々の豊富な山野草が茂り、北関東に生息する1,800種を超える昆虫類や鳥類を自然に近い形で見ることができます。

また、癒やし効果が実証された「森林セラピー基地」として認定され、企業や団体などでの健康増進イベントの開催場所としても利用されています。

3 あじサイクルについて

(1) 概要

市民や本市を訪れる観光客の移動手段として、電動アシスト自転車10台（スポーツタイプ5台、ママチャリタイプ5台）の貸し出しを令和元年5月19日から始めました。この事業は、群馬県立渋川女子高等学校の総合的な学習の時間の中で生徒から提案されたものです。事業化に当たり、愛称や自転車のラッピングデザインの選定にも、同校生徒に協力してもらいました。

(2) 利用実績

年度	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
件数	694件	820件	863件	1,002件	838件

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により一時貸出し中止

(3) ちやりチャレの実績

- ①2023年春開催（実施期間：4月29日～5月7日）＝21件利用
- ②2023年秋開催（実施期間：11月3日～12日・定休日の7日を除く）＝17件利用
- ③2024年春開催（実施期間：4月27日～5月6日）＝12件利用
- ④2024年秋開催（実施期間：11月2日～10日・定休日の5日を除く）＝8件利用
- ⑤2025年開催（実施期間：4月29日～11月30日・定休日を除く）＝16件利用

■問い合わせ先

商工観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：商工課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

商工振興係長 保科 陽介（内線4895）

「赤城自然園」 森までクライム

(チャリチャレ2026)

電動アシスト自転車「あじサイクル」をレンタルして
赤城自然園までのヒルクライムにチャレンジし、
園内散策を楽しんでくれる人に赤城自然園の招待券
を進呈します。



とき

4月25日(土)
～11月29日(日)

受付場所

渋川駅
渋川駅前プラザ1階
(渋川市渋川 1832-27)

受付時間

午前9時～午後1時

対象者

高校生以上
(写真付き身分証明書の提示が必要)

事前予約

駅前プラザ証明サービスコーナー
10時30分～18時30分(火曜日除く)

TEL 0279-24-0022

資料2

4月18日(土)に「しぶかわ桜まつり」を開催します

約3,000本の桜を有する渋川市総合公園で、4月18日(土)に「しぶかわ桜まつり」を開催します。

ステージイベントやスタンプラリーなどを実施するほか、MM-1フェスティバル(まんなか・まんじゅうフェスティバル)も同時開催します。

1 概要

約3,000本の桜を有する渋川市総合公園で、渋川市民に桜を愛でながら春の訪れを感じてもらうことを目的とした企画です。

平成28年を初回とし、今回で9回目の開催となります。平成29年からは、渋川商工会議所青年部が中心となった実行委員会を組織し、運営しています。

渋川市内各店舗のまんじゅうを味比べできる、MM-1フェスティバル(まんなか・まんじゅうフェスティバル)も同時開催します。

2 日 時 令和8年4月18日(土) 午前10時～午後3時

3 場 所 渋川市総合公園(渋川市渋川4272) 自由広場

4 内 容

(1) しぶかわ桜まつり(主催:しぶかわ桜まつり実行委員会)

・ステージアクト

Voxx Gardens Circusによるライブが行われます。

※Voxx Gardens Circusは、ライブイベントを企画、実施している団体です

・スタンプラリー

スタンプを集めながら桜の名所を散策していただきます。

・出店コーナー

今年も市内の飲食店事業者を中心にたくさんの出店が並びます。このほか、子ども向けのブースや宝石探しなどを企画しています。

・楽しい乗り物コーナー

消防車、トラックなどの働く車が展示され、試乗や記念撮影ができます。

レトロな三輪自動車トックトックも登場します。

・MM-1フェスティバル

「日本のまんなか」渋川市の「まんじゅう」をPRするとともに、地域の活性化を図ることを目的に、渋川地区の「まんじゅう」を一堂に集め販売します。

・渋川バザール

渋川商工会議所青年部の産業祭を開催します。

※雨天の場合は、内容を変更して渋川市総合公園体育館で実施します

※荒天中止です

(2) 夜桜ライトアップ（主催：渋川市）

公園内のレンガ通り及び自由広場において桜にスポットライトをあてるなど夜桜を楽しんでいただけます。

- ・期 間 令和8年4月4日～5月6日(水・振休)
※桜の開花状況により変更となります
- ・時 間 毎日午後6時～9時

5 主 催 しぶかわ桜まつり実行委員会

6 共 催 渋川商工会議所青年部、Voxx Gardens Circus実行委員会

7 後 援 渋川市、渋川商工会議所、公益財団法人渋川市まちづくり財団、
一般社団法人渋川伊香保温泉観光協会、渋川地区物産振興協会

8 記者会見出席者

しぶかわ桜まつり実行委員長 吉田 竜希（よしだ りゅうき）さん

参考

しぶかわ桜まつり過去5カ年の開催状況

- ・令和3年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ・令和4年度 4月16日：来場者数約2,500人
- ・令和5年度 4月15日：来場者数約1,500人
- ・令和6年度 4月13日：来場者数約3,000人
- ・令和7年度 4月19日：来場者数約3,000人

■問い合わせ先

建設交通部 部長 坂井 泉（内線4700）
担当：都市政策課（電話0279-25-8307）
課長 延沢 和也（内線4790）
管理係長 谷 徳二（内線4785）

2026.4.18 10:00-15:00 SAT

YouTube



2026しぶかわ
桜まつり動画

しぶかわ 桜まつり



宝石探し



スタンプラリー



働く車大集合



トクトク

同日同時開催イベント

渋川バザール

飲食ブースや体験ブースなど楽しいお店がたくさん！

Voxx Gardens Circus

まんががまんじゅう



MM-1フェスティバル

渋川の美味しい
おまんじゅう
大集合！

渋川の
バンドが
大集合！

※ イベント当日はSNS配信を行います。配信される写真等に来場者が映り込む場合がございます。予めご承知下さい。

会場 / 渋川市総合公園 自由広場 (渋川市渋川4272)

※ 雨天の場合、ステージイベント等は体育館でおこないます。但し荒天の場合は、イベント中止となります。

主催 しぶかわ桜まつり実行委員会 共催 渋川商工会議所 青年部 Voxx Gardens Circus実行委員会

後援 渋川市 / 渋川商工会議所 / (公財)渋川市まちづくり財団
(一社)渋川伊香保温泉観光協会 / 渋川地区物産振興協会

お問合せ / 渋川商工会議所 青年部 会長 (吉田竜希) 080-4384-0511



入場 無料

Official Information / Social Networking Service



Instagram



Facebook

※ 荒天の場合は中止と致します。開催の可否につきましては、QRコードよりご確認をお願い致します。

Cherry Blossom Festival

資料3

物価高騰支援として渋Payカードを全市民に配付します

渋川市は、物価高騰の影響を受けている市民を支援するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民1人当たり8,000円相当のポイントを付与した渋Payカードを全市民に配付します。

今回配付する渋Payカードは、今後の渋川市からのポイント付与に対応し、繰り返し利用できるものです。

1 概要

渋川市は、物価高騰の影響を受けている市民に対して広く消費の下支えを行うとともに、渋Pay加盟店での消費喚起を促すことによる事業者支援や渋Payによるキャッシュレス決済の更なる普及定着につなげるため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市民1人当たり8,000円相当のポイントを付与した渋Payカードを、全市民に配付します。

2 配付対象者 令和8年4月1日時点で渋川市に住民登録がある人

3 配付物

(1) 1人当たり8,000円相当の市民生活応援ポイントを付与した渋Payカード

※配付する渋Payカードは、今後の渋川市からのポイント付与に対応し繰り返し利用しますので、大切に保管していただきます。



▲配付する渋Payカードのデザイン

(2) 利用案内

- ①渋Payカードの利用方法
- ②渋Payカードのポイント残高の確認方法
- ③渋Payカードから渋Payアプリにポイントを移行する方法
- ④渋Payアプリのインストール・会員登録方法

(3) 加盟店一覧（市ホームページで随時更新）

4 配付方法

世帯主宛に世帯全員分の渋Payカードを、令和8年4月中旬以降に配付します。

※郵便受けへの配達ではなく、原則として対面での手渡しとします

※渋川市内の全世帯を対象としているため、全ての家庭に届くまでに、1カ月以上かかる場合があります

5 ポイント有効期限 令和8年10月31日(土)

6 利用方法等

	カードで利用	アプリで利用
利用方法	支払の際にカードを提示すると、店員がカード表面の二次元コードを読み取り、決済額を入力します	①カードのポイントを渋P a y アプリ (c h i i c a) に移行します ②支払の際に、レジにある二次元コードをアプリで読み取り、支払金額を入力します
使えるお店	渋P a y 加盟店のうち、カード対応加盟店（加盟店一覧でカード利用欄に○の記載がある店舗）のみで利用可能	全ての渋P a y 加盟店で利用可能
残高確認	決済時に店舗に確認	アプリで確認

※令和8年4月1日現在の登録加盟店数：378店
（うち、カード対応加盟店250店）

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡（内線2410）

担当：DX推進課（電話0279-25-8414）

課長 後藤 景太（内線2450）

行政改革係長 廣田 剛（内線2443）

資料4

「こども誰でも通園事業」の本格実施を開始しました

令和6年7月から試行的に実施してきた「こども誰でも通園事業」の本格実施を渋川市立こもち幼稚園で開始しました。

この事業は、保護者の就労の有無に関わらず、1時間単位でお子様を預けられる事業です。なお、渋川市内在住者が利用する場合の利用料は無料としています。

1 経 緯

こども誰でも通園事業は、全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、現行の幼児教育・保育給付に加え、月一定時間までの利用可能枠の中で、保護者の就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できるものです。令和8年度は、子ども・子育て支援法に基づく新たな給付として全国的に実施しています。

2 内 容

(1) 対象児童

次の全てに該当する児童。

- ①幼稚園、保育所、認定こども園などに在籍していないこと
- ②0歳6カ月から満3歳未満であること

(2) 利用可能時間

- ・午前9時～正午
- ・1時間単位で利用可能
- ・児童1人当たり月10時間まで

(3) 利用可能日 月・水・金曜日（祝日・年末年始・県民の日などを除く）

(4) 実施施設 渋川市立こもち幼稚園

(5) 定 員 1日当たり9人（満1歳未満は4人まで）

(6) 職員配置 専任の保育士4人

(7) 利 用 料 無料（渋川市外の方が利用する場合は、1時間当たり300円）

3 登録の状況（令和8年4月8日現在）

(1) 登録者数 18人（1歳未満児4人、1歳児4人、2歳児10人）

(2) 予約状況 10日（4月中の実施日）×9人（1日当たりの利用定員）

＝90枠中59枠が予約済み

※59枠の内訳：1歳未満児＝14枠、1歳児及び2歳児＝45枠

4 利用の流れ

- ①こもち幼稚園へ利用認定申請書の提出
- ②市から利用認定書の送付
- ③総合支援システムで利用者登録
- ④利用予約（総合支援システム）
- ⑤利用 ※初回利用の前に施設による面談を実施

5 これまでの経過

- (1) 令和6年度 国の採択を受け試行的事業（国庫補助事業）として実施
(2) 令和7年度 児童福祉法に定められている地域子ども・子育て支援事業として制度化された事業として実施

6 予算額 718万8千円（財源内訳：国4分の3、県8分の1、市8分の1）

■問い合わせ先

こども健康部 部長 齊藤 章吉（内線1150）

担当：こども課（電話0279-22-2415）

課長 野中 文子（内線1201）

保育幼稚園係長 田子 純一（内線1203）

渋川市 こども誰でも通園事業



保護者の就労の有無に関わらず、1時間単位でお子様を預けられる「こども誰でも通園事業」を行っています。
保育所等に入っていないお子様も集団生活に触れることができます。

●一時預かり事業との違い

一時預かりは「保護者の立場からの必要性」に対応するものですが、本事業はこどもを中心に考え、遊びと体験を通して、成長を支援する環境を整えることを目的としています。

こどもにとって

- 家庭とは異なる経験ができ、家族以外の人と関わる機会が得られます。
- 専門的な知識を持つ人が関わる環境で、様々な経験をし、ものや人への興味関心を育みながら成長することができます。
- 年齢が近いこどもとの関わりを通じて、社会性を育みます。

保護者にとって

- 専門的な知識や経験を持つ人と関わることにより、安心感が生まれ、孤立感、不安感の解消につながります。
- 人とのつながりが広がり、様々な情報を得ることができるため、子育てに役立つ社会的な支援を受けやすくなります。

対象児童

下記の全てに該当する児童

- 幼稚園、保育所、認定こども園、特定地域型保育施設及び企業主導型保育施設に在籍していない
- 0歳6か月から満3歳未満まで

場所・日時

【実施施設】

こもち幼稚園（定員：1日当たり9人）

【日時】

- 月・水・金曜日の午前9時から正午まで
※1時間単位の利用になります。
- 児童1人当たり月10時間まで

利用料金

渋川市民：無料

※市外在住者の方は1時間当たり300円

◆利用までの流れ

登録

①利用認定申請

利用認定申請書を提出する。
提出先：こもち幼稚園

②総合支援システムの利用者登録

渋川市が利用認定を行うと「総合支援システム」のアカウント発行通知メールが送付される。

案内に沿ってパスワードの設定を行い、保護者や児童の情報を登録する。

予約

③利用予約

総合支援システムを使って利用希望施設を予約する。

利用

④利用

利用当日は総合支援システムを使って施設にある2次元コードを読み取り、登園及び降園の登録を行う。
※初めて利用する施設では初回利用の前に施設による面談が必要です。



お問い合わせ

こもち幼稚園：☎60-6688

渋川市内の駅から通学定期券を利用して大学等へ通学する学生を応援する「渋川市大学生等通学応援事業」の補助対象を拡大して実施します

渋川市は、大学生等を対象に通学定期券の購入費用を補助する「渋川市大学生等通学応援事業」を実施しています。令和8年度は、若者の市内定着をさらに促進するため、補助対象を拡大して実施します。

1 概要

渋川市は、進学による若者の市外転出を抑制するため、大学生等を対象に通学定期券購入費用の一部を補助しています。

令和7年度は、補助対象とする通学先を、東京都、神奈川県、千葉県に限定していました。令和8年度からは、若者の市内定着をさらに促進するため補助対象を拡大し、JR渋川駅を起点として、大学等の最寄り駅までの鉄道距離が36.1km以上となる通学を補助対象とします。

36.1kmは、渋川駅を起点とした県外の最短距離となるJR高崎線神保原駅までの鉄道距離です。これを超えて通学する場合は、県内であっても補助対象とします。

2 補助対象者

次の要件を全て満たす人。

- ①補助金申請時に渋川市内に居住していること
- ②補助金申請日の属する年度の末日において19歳以上25歳以下であること
- ③通学定期券を利用して大学等（※）に通学していること

※「大学等」とは、学校教育法が定める大学、短期大学、高等専門学校及び専修学校のことです

3 補助対象区間

JR渋川駅を起点として、大学等の最寄り駅までの鉄道距離が36.1km以上の通学区間。

4 補助対象期間

定期券の有効期間が、令和8年4月1日～令和9年3月31日の間で、大学等への通学開始日の属する月から大学等の卒業日の属する月までとします。

5 補助対象経費 補助対象期間内の通学定期券の購入費用

6 補助額

補助対象経費の合計額に100分の20を乗じた額とし、次の①又は②の金額を上限とします。

- ①新幹線利用有り＝月額1万円（年額12万円）
- ②新幹線利用無し＝月額5,000円（年額6万円）

※百円未満の端数が生じた場合は切り捨て

7 申請方法

次の申請書類等を、郵送（〒377-8501・渋川市石原80）又は持参で市民協働推進課へ提出してください。

- (1) 申請書（様式）
- (2) 申請者の学生証の写し又は在学証明書
- (3) 利用期間等が記載された通学定期券の写し
- (4) その他市長が必要と認める書類

※納税状況の照会及び住民基本台帳の閲覧について申請者が同意しない場合は、市税の滞納のない証明書及び住民票の提出が必要です

8 予算額 500万円

※積算根拠は下記のとおり

- ①新幹線利用有り＝月額1万円×10月×26人＝260万円
- ②新幹線利用無し＝月額5,000円×10月×48人＝240万円

9 その他

群馬県内では、館林市、邑楽町、千代田町において同様の支援を実施しています。

参考

令和7年度の補助実績

- (1) 補助人数 15人（内訳：大学生14人、専門学生1人）
- (2) 新幹線 利用有り8人、利用無し7人
- (3) 補助金額 67万5,000円

■問い合わせ先

市民生活部 部長 堀口 幸則（内線1100）

担当：市民協働推進課（電話0279-22-2401）

課長 阿部 等（内線4314）

移住定住支援係長 山田のぞみ（内線2181）

資料6

上三原田の歌舞伎舞台「創建者150年大遠忌公演」への寄附を募集しています

渋川市は、上三原田の歌舞伎舞台「創建者150年大遠忌公演」を、令和8年11月に実施する予定です。この公演の円滑な運営、実施にかかる費用及び若い世代への歌舞伎文化普及の取り組みなどへの寄附を広く募集しています。

1 概要

令和8年に、舞台創建者永井長治郎が亡くなってから150年の大遠忌を迎える国指定重要有形民俗文化財「上三原田の歌舞伎舞台」において、「上三原田の歌舞伎舞台『創建者150年大遠忌公演』」と題した歌舞伎公演の実施を予定しています。

この公演は、口伝により伝えられてきた舞台設営技術が途切れることのないよう、跳ね木・桁・桁受け柱・棟木・垂木の設置工程や縄の結び方、棧敷席設営等について、その手順に則って記録した映像とともに、後世に技術の継承を図ること、また、地域資源・観光資源として一層の活用を進めることを目的としています。

この公演の実施に当たり、観客席に屋根を設置する費用や、若い世代に歌舞伎文化を普及する取り組みなどに対する寄附を広く募集しています。

2 寄附の方法

(1) 文化財保護課への寄附申し込み

- ①寄附の流れ 寄附申込書を提出していただき、文化財保護課からの案内に従って手続きをお願いします
※寄附申込書は市ホームページにあります
- ②寄附金額 1口1万円から
- ③募集期間 令和8年4月1日～12月31日(木)
- ④寄附のお礼 寄附をしていただいた人には感謝状をお贈りします。また、希望者にはノベルティグッズをお贈りするほか市ホームページで紹介します
- ⑤その他 詳細は、市ホームページを確認してください
※市ホームページは、右の2次元コードからアクセスできます



(2) ふるさと納税による寄附

渋川市ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）において、寄附金の使途として「国指定重要有形民俗文化財・上三原田の歌舞伎舞台「創建者150年大遠忌公演」プロジェクト」を選択していただくと、寄附金を公演の費用に充てられます。

寄附の方法は、市ホームページを確認してください。

3 上三原田の歌舞伎舞台「創建者150年大遠忌公演」の実施概要（予定）

(1) 開催日 令和8年11月7日(土)、8日(日)の2日間

(2) 会場設営

舞台前面に跳ね木5本（東西18.0m、南北17.5mの屋根）を掛けた観客席を設営します。屋根を掛けるのは7年ぶりになります。

(3) 公演内容

- ・歌舞伎舞台の機構操作技術の披露
- ・渋川市内地芝居団体、渋川子ども歌舞伎、地元三原田小学校歌舞伎クラブによる歌舞伎公演
- ・渋川市内に伝わる伝統芸能である人形芝居や獅子舞の公演
- ・上三原田の歌舞伎舞台に関わる講演
- ・市内外で活躍する吹奏楽団の演奏 ほか

参考

国指定重要有形民俗文化財「上三原田の歌舞伎舞台」について

上三原田の歌舞伎舞台は、文政2年（1819）に地元の水車大工永井長治郎翁により建造されたと伝えられる農村歌舞伎舞台です。

この舞台には、「ガンドウ機構」「遠見機構」「二重セリ機構」「回転機構」といった舞台演出機構が備えられ、その特殊性・特異性から、全国に複数ある国指定の農村歌舞伎舞台の中で最も早く、昭和35年に指定を受け、農村舞台研究の発端になったという民俗研究史上で重要な位置を占める遺構でもあります。

また、舞台機構の操作や舞台観客席の設営は、昭和36年、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択無形民俗文化財）にも指定されています。

舞台操作は、上三原田地区住民で組織される上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会が継承しており、公演の際には、屋根裏・奈落・平舞台に配置された約80人の人たちが、拍子木の音により息を合わせて操作します。

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：文化財保護課（電話0279-52-2102）

課長 太田 国男（内線8245）

文化財保護活用係長 横田 美由紀（内線8245）

※ふるさと納税に関する問い合わせは、総合政策部広報課（電話0279-22-2182）へ

全職員が広報広聴活動に取り組むための 「渋川市広報広聴戦略プラン2.0」を策定しました

「渋川市広報戦略プラン」の計画期間が令和8年3月31日で満了となったことから、改訂版となる「渋川市広報広聴戦略プラン2.0」を策定しました。

「つながる・伝わる『全員広報』」を基本理念とする本プランは、前プランからの課題を引き継ぐとともに、広聴の重要性に視点を置いた内容となっています。

渋川市は、このプランに基づいて、全ての職員が情報の発信拠点となる意識を持った「全員広報」を実施する体制を目指し、広報広聴活動に取り組めます。

1 概要

市政運営を円滑に進めるためには、まちづくりのパートナーと位置づけられる市民に、市政への理解と協力をいただくことが必要不可欠になっています。その中で、広報は市民との「コミュニケーションツール」の役割を果たしています。また、インターネットやSNSの普及に伴い、市内外を問わず、不特定多数の人に情報を発信できるようになったことから、広報の活用が市政に与える影響が大きくなっています。渋川市は、広報活動に取り組む指針として、令和5年度から令和7年度を計画期間とした「渋川市広報戦略プラン」を定め、積極的に広報活動に取り組んできました。

このプランの期間満了に合わせて、広報広聴に関する市民アンケートを実施した上で、これまでの取り組みを検証し、第2期のプランを策定しました。第2期のプランは、市民アンケートの結果による市の広聴事業の認知度の低さや検証の結果から、引き続き第1期の課題解決に取り組むことを基本方針としています。また、全職員に広聴の必要性を認識してもらう必要があると判断し、名称を「渋川市広報広聴戦略プラン」としました。

このプランに掲げる広報活動を遂行するには、一部の担当者による広報ではなく、全ての職員が情報の発信拠点となる意識を持った「全員広報」に取り組む必要があります。そのため、基本理念を「つながる・伝わる『全員広報』」とし、渋川市全体の広報と広聴を合わせた「広報力」の向上を目指します。

2 広報広聴戦略プランの位置付け

渋川市広報広聴戦略プラン2.0は、「市民との協働のまちづくりを進めるための市民とのコミュニケーション形成」及び「市の魅力を広く内外に発信し、市のイメージの向上とブランド化を目指すシティセールスやシティプロモーションの実施」を確実に実行するためのツールとして、広報広聴を的確に活用する指針となるものです。

3 プランの構成

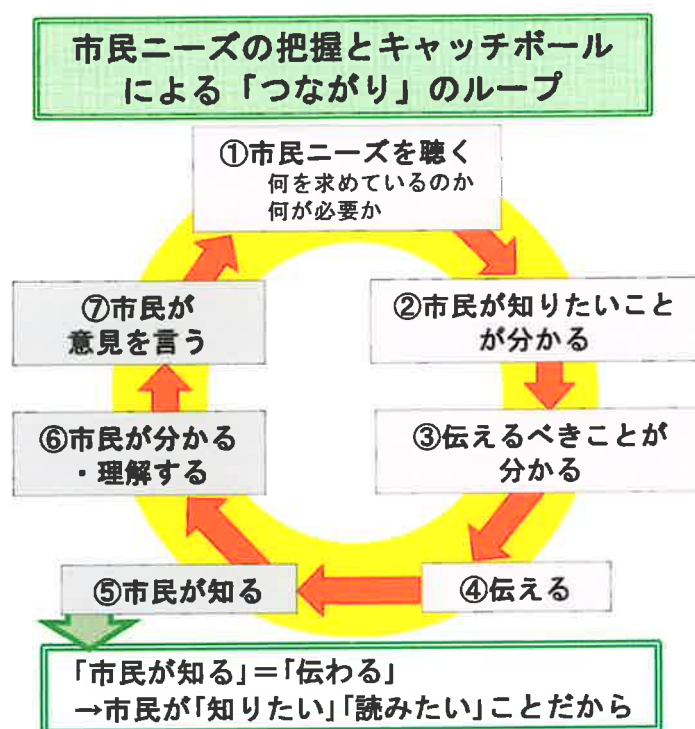
- (1) 広報広聴戦略とは
- (2) 渋川市の「広報広聴」の現状
- (3) 渋川市の「広報広聴」の課題
- (4) 広報広聴戦略の基本的な考え方
- (5) 具体的な取り組み

4 計画期間 令和8年度～10年度（3年間）

5 基本理念 つながる・伝わる「全員広報」

6 基本目標

- (1) 「伝える広報」から、広聴の活用による市民ニーズを踏まえた「伝わる広報」へ転換し、市民と市を「つなぐ」
- (2) デジタル社会に対応し、スピード感を持った情報提供で、社会（市民や市外の人）と市を「つなぐ」
- (3) 「つながり」が生む、広聴～広報～広聴のループにより地域力を高め、地域ブランドを確立する
- (4) どこでも情報を取れる時代で、地域ブランドに基づく「選ばれる情報」を発信し、渋川市のファンを増やす
- (5) 人口減少が進む中、情報発信の強化で幅広い世代を引きつける、選ばれるまちの実現を目指す
- (6) 上記を達成するために、全職員の広報と広聴を合わせた「広報力」の向上を図る



7 基本戦略

- (1) 「お知らせ型広報」からの脱却
- (2) 広報媒体の効果的な活用
- (3) 市民ニーズの把握
- (4) 地域ブランドの広報
- (5) 職員意識の醸成

8 前プランとの比較

- (1) 「全員広報」を目指し、基本理念、基本目標を継続
前プランで示した課題の解決や目標とする職員の広報意識の醸成が実現できていないことから、改訂した今回のプランでも、引き続き、全職員が情報発信の意識を持つ「全員広報」を基本理念とし、市全体で効果的な広報の実践を目指します。
- (2) 広報活動について「広聴」を合わせて記載
「住民幸福度」向上のため、市民の意見を聴く「広聴」を機能させるため、プラン名に「広聴」を追加し、広報と広聴を合わせて進める必要性の意識づけを図ります。

- (3) 広報広聴についての市民意識の現状と実績を記載
令和7年度に実施した広報広聴アンケートの結果や、直近（令和5年度）の市民意識調査の広報に関する結果を記載しました。
- (4) アンケート結果等を踏まえた取組内容の見直し
市民等を対象に実施した広報広聴アンケート調査の結果を踏まえ、SNSや動画の活用とその研究、広聴事業の認知度向上や市民の意見反映事例の周知など、具体的な取り組みを明確にして、広報活動を実行しやすい体制を進めます。

9 その他

県内の他市における広報戦略プランの策定の状況は、前橋市、伊勢崎市が策定しています。

参考

1 「渋川市広報戦略プラン」の概要

- (1) 計画期間 令和5年度～7年度（3年間）
- (2) 基本理念 「つながる」「伝わる」ための『広報力』の向上
- (3) 実施した職員研修の例 職員階層別研修、新規採用職員研修、ホームページコンテンツ管理システム操作研修

2 広報広聴アンケートの概要

- (1) アンケート調査対象 渋川市民及び渋川市内在勤・在学の人
- (2) 調査方法 市ホームページに掲載したアンケートフォームからの回答
- (3) 調査期間 令和7年8月1日～9月30日（61日間）
- (4) 回答数 423人

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡（内線2410）
担当：広報課（電話0279-22-2182）
課長 熊迫 徳三（内線2419）
広報広聴係長 武井 香代（内線2414）

誰もが受け取りやすい情報発信に向けて 多様性の視点に配慮した公的広報の手引きを策定しました

渋川市が発信する広報において、多様な背景を持つ市民に配慮した表現を推進するため、「多様性の視点に配慮した公的広報の手引き」を策定しました。

この手引きは、表現を規制するものではなく、職員が広報作成時に立ち止まって確認するためのチェックツールとして活用し、誰もが受け取りやすい情報発信の推進につなげます。

1 策定の目的

渋川市は、令和6年4月に施行した「男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の理念を踏まえ、誰もが尊重される社会の実現に向けた取り組みを進めています。

その一環として、渋川市が発信する広報においても、無意識の思い込みや固定観念による偏りを防ぎ、誰もが受け取りやすい表現とするための指針として、「多様性の視点に配慮した公的広報の手引き」を策定しました。

この手引きは、特定の表現を一律に制限するものではなく、職員が広報作成時に立ち止まって確認するための「チェックツール」として活用するものです。

2 主な内容（構成）

この手引きは、実務で活用しやすいよう、以下の7つの視点で構成しています。

- ①性別による偏り
- ②年齢・世代に対する先入観
- ③障害の有無に関する配慮（社会モデルの視点を含む）
- ④国籍・文化的背景
- ⑤性的指向・性自認（SOGI）
- ⑥不快感を与えるおそれのある表現
- ⑦ユニバーサルデザイン

3 用途（活用場面）

- ・広報紙、チラシ、ポスター、ホームページ等の作成時
- ・イベント周知における情報保障（手話通訳、字幕等）の検討
- ・委託制作物の確認・指示
- ・庁内研修及び職員の意識向上
- ・市ホームページ掲載による市民・関係団体との意識共有

4 今後の方向性

この手引きは、策定後も社会状況や価値観の変化を踏まえ、必要に応じて適宜見直しを行います。

また、庁内周知や実務支援等を通じて定着を図り、市民や関係団体との意識共有を進め、多様性を尊重する意識の醸成と、誰もが受け取りやすい情報発信の推進につなげます。

5 その他

県内では、高崎市が男女共同参画の視点から、イラストや文章表現に関する留意事項をまとめた「イラスト表現等の手引きー男女共同参画にかかわる留意事項ー」を策定し、公表しています。

渋川市の手引きは、これらの取組も参考にしつつ、性別に限らず多様な視点を対象とした広報全体の実務ツールとして整理したものです

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡 (内線2410)

担当：総合政策課 (電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史 (内線2420)

未来政策係長 齋藤 大輔 (内線2423)

資料9

しづかわ電子地域通貨「渋P a y」1%応援金の活用状況をお知らせします

しづかわ電子地域通貨事業では、渋P a y加盟店に決済額の1%をご協力いただき、こども夢基金に積み立て、「将来世代への投資」を目的とする事業に活用しています。

これまでのこども夢基金への積立額とその活用状況、令和8年度の活用予定事業をお知らせします。

1 概要

令和4年12月12日からスタートした、しづかわ電子地域通貨「渋P a y」の渋P a y 1%応援金は、渋P a y加盟店に決済額の1%をご協力していただくものです。渋川市は、この応援金をこども夢基金に積み立て、「将来世代への投資」を目的とする事業に活用しています。

2 こども夢基金への積立額

- ・令和4年度（実績）＝270万4,880円
- ・令和5年度（実績）＝1,228万4,986円
- ・令和6年度（実績）＝1,090万91円
- ・令和7年度（実績）＝1,215万2,930円

3 活用状況

- (1) 令和5年度（実績）：199万5,000円
 - ・渋P a y 1%応援金活用学校図書充実事業
小中学校の図書室に配架する図書の購入（199万5,000円）
- (2) 令和6年度（実績）：800万円
 - ・渋P a y 1%応援金活用学校図書充実事業
小中学校の図書室に配架する図書の購入（191万3,000円）
 - ・渋P a y 1%応援金活用魅力ある学校づくり事業
校用備品の購入（体育館用大型扇風機、綱引き用の綱等：608万7,000円）
- (3) 令和7年度（実績）：264万7,000円
 - ・学校図書館図書整備充実事業
小中学校の図書室に配架する図書の購入（200万円）
 - ・市内高校生連携事業
高校生の放課後自習室「すたでいばんく」の防犯カメラやデスクライト等の購入（41万8,000円）
 - ・庁舎管理事業（第二庁舎）
学生みんなの自習室「インすたでいほーる」の照明器具のLED化（22万9,000円）



▲渋P a y 文庫



▲防犯カメラ



▲デスクライト

(4) 令和8年度(予定): 1,296万4,000円

- ・学校図書館図書整備充実事業
小中学校の図書室に配架する図書の購入(200万円)
- ・図書資料購入事業
渋川図書館及び北橘図書館に配架する図書の購入(新規・150万円)
- ・校外活動支援バス運行事業
老朽化したマイクロバス1台の更新(新規・946万4,000円)

参考

しづかわ電子地域通貨「渋Pay」の事業実施状況

- (1) 導入日 令和4年12月12日
- (2) 登録加盟店数(令和8年3月31日現在)
378店(うち渋Payカード対応店舗数は240店)
- (3) 発行・利用状況(令和4年12月12日～令和8年3月15日)
 - ①発行額(チャージマネーやキャンペーンポイントなど)
 - ・令和4年度=3億9,932万6,000円
 - ・令和5年度=12億1,350万8,472円
 - ・令和6年度=10億4,350万8,346円
 - ・令和7年度=13億8,931万8,947円

※合計=40億4,566万1,765円
 - ②利用額
 - ・令和4年度=2億7,053万8,820円
 - ・令和5年度=12億2,870万9,093円
 - ・令和6年度=9億9,809万8,511円
 - ・令和7年度=11億2,898万7,594円

※合計=36億2,633万4,018円

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡(内線2410)
 担当: DX推進課(電話0279-25-8414)
 課長 後藤 景太(内線2450)
 行政改革係長 廣田 剛(内線2443)

渋川・伊香保温泉バリアフリーマップを改訂しました

渋川市は、誰もがあきらめない観光地を目指し、障害の有無にかかわらず、誰もが安心して伊香保温泉を楽しめるように作成した「渋川・伊香保温泉バリアフリーマップ」を改訂しました。

今回の改訂では、施設情報の更新・追加に加え、来訪前のチェックリストや、現地で困ったときに役立つ情報を新たに掲載し、“情報マップ”から、「どう行けば楽しめるか」が分かる“行動マップ”へと充実を図りました。

1 概要

渋川市では、誰もがあきらめない観光地を目指し、障害の有無にかかわらず、誰もが伊香保温泉の温泉街を安心して散策できるよう、「渋川・伊香保温泉バリアフリーマップ」を作成・配布しています。

この度、前回改訂から3年が経過したことから、この間に実施したフィールドワークやワークショップ等で得られた成果、掲載施設からの修正提案、庁内関係課からの意見等を反映し、内容の見直しを行いました。

今回の改訂では、バリア情報を示すだけでなく、より観光のイメージを具体的にできるよう「どう行けば楽しめるか」という視点を重視し、来訪者が出発前から現地滞在中まで安心して行動できる内容へと充実を図りました。

2 作成部数等

- (1) 作成部数 5,000部
- (2) 規格 縦29.7cm×横84.0cm（仕上がりA6サイズ・マップ折り）

3 主な変更点

(1) 施設情報の更新・充実

掲載施設の営業時間、休館日、連絡先などの情報を最新の内容に更新するとともに、各施設のホームページへの二次元コードを追加しました。

また、渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館を新たに追加したほか、河鹿橋、伊香保神社、ハワイ王国公使別邸の情報を充実しました。

(2) 来訪前に役立つ情報の追加

来訪者が事前に自分のペースに合った計画を立てやすくしていただけるよう、移動、介助、体調、服装など、出発前に確認していただきたい内容をまとめたチェックリストを新たに掲載しました。

(3) 現地で安心して行動するための情報の追加

伊香保ロープウェイの利用時の注意点、石段街の移動の考え方、施設利用時に受けられるサポートの例、移動に不安がある場合の交通手段などを新たに掲載しました。

また、旅行中に困ったことが生じた際に役立つ各種連絡先を追加し、安心して観光を楽しめるよう配慮しました。

(4) マップ寸法の拡大

従来の縦29.7cm×横63.0cmから、縦29.7cm×横84.0cmへ拡大し、A4サイズ1枚分情報量を増やしました。

これにより、新たな情報を加えつつ、見やすさも向上しています。

4 改訂の経過と目的

本マップは、令和3年度に内閣官房所管の「オリパラ基本方針推進調査 共生社会ホストタウン交流事業」を活用し、当事者団体であるDET群馬の協力のもと、現地調査を実施し、作成したものです。

令和4年度には、DET群馬による現地調査や公共交通機関へのヒアリングを踏まえ、マップ寸法の拡大、参考ルートの追加、アクセス情報の充実を図る第一次改訂を行いました。

その後も、DET群馬や高崎商科大学萩原研究室などとのフィールドワークを重ね、紙媒体のマップの活用や、観光地における移動支援のあり方について検討してきました。

今回の改訂は、こうした継続的な取組の成果を反映し、「情報マップから行動マップへ」転換するものです。

5 今後の活用

本マップは、市ホームページに掲載するほか、観光課での配布をはじめとして、駅案内所や観光施設にて配架を行い、改訂したマップを通じて、障害のある方や高齢の方だけでなく、多くの来訪者が安心して伊香保温泉を楽しめる環境づくりを進めます。

また、本マップを観光案内のためのツールにとどめず、観光地の受入環境の向上や、地域全体の心のバリアフリー、ユニバーサルツーリズムの理解促進につなげていきます。

参考

1 これまでの発行部数

- ・令和3年度 初版作成 (5,300部)
- ・令和4年度 第一次改訂 (5,000部)
- ・令和7年度 今回改訂 (5,000部)

2 DET群馬について

「DET群馬」は、「DETフォーラム (特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム)」の養成講座を修了したファシリテーターを中心に結成された団体です。

障害の有無に関わらず、多様な人々が暮らしやすく、働きやすい、誰もが自分の住む地域で安心して生活できる「共生社会」の実現を目指し、県内外で活動しています。渋川市では、令和2年度からセミナー実施などの協働の実績があります。

3 高崎商科大学萩原研究室について

高崎商科大学所属の萩原准教授は、環境教育論 (エネルギー教育・国際理解教育・ESD)、エネルギー政策・環境政策・地域研究 (台湾)、観光まちづくり論を研究分野とし、ユニバーサルツーリズムの推進に当たって、渋川市と令和6年度から伊香保温泉石段でのバリアフリーマップを活用したフィールドワークの実施などの協働の実績があります。

■問い合わせ先

総合政策部 部長 須田 佳匡 (内線2410)

担当：総合政策課 (電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史 (内線2420)

未来政策係長 齋藤 大輔 (内線2423)

渋川市武道館と渋川市赤城総合運動自然公園の ネーミングライツパートナーと愛称が決まりました

渋川市は、ネーミングライツパートナーを募集した渋川市武道館と渋川市赤城総合運動自然公園について、応募者と令和8年1月23日付で契約を締結しました。施設の愛称は、渋川市武道館が「宮田商会武道館渋川」、渋川市赤城総合運動自然公園が「木暮組 スポーツパーク赤城」に決まりました。両施設の愛称は、令和8年4月1日から5年間使用します。

1 概要

渋川市は、企業などへの広告の機会を拡大し、市の新たな財源確保と地域経済の活性化及び市民サービスの継続的な実施を目的に、公有施設へのネーミングライツの導入を進めています。

この度、渋川市武道館と渋川市赤城総合運動自然公園について、ネーミングライツパートナーを募集しました。その結果、応募のあった事業者との協議を経てパートナー契約を締結しました。なお、上記2施設のネーミングライツパートナーと愛称は、いずれも前回（令和5年1月1日～）からの継続となります。

2 ネーミングライツパートナーの決定内容

(1) 渋川市武道館

- ①契約相手方（パートナー）＝株式会社宮田商会（渋川市石原500番地）
代表取締役 宮田 幸平（みやた こうへい）
- ②施設愛称＝宮田商会武道館渋川（みやたしょうかいぶどうかんしぶかわ）
- ③ネーミングライツ料＝年額60万円（税別）
- ④契約期間＝令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年）
- ⑤パートナーの事業概要＝構内運搬、切断加工、電気炉、製鋼、製鋼設備整備を手掛ける金属・製造関連事業者です

(2) 渋川市赤城総合運動自然公園

- ①契約相手方（パートナー）＝株式会社木暮組（渋川市赤城町溝呂木452番地）
代表取締役 木暮 唱（きぐれ しょう）
- ②施設愛称＝木暮組 スポーツパーク赤城（きぐれぐみ すぽーつぱーくあかぎ）
- ③ネーミングライツ料＝年額50万円（税別）
- ④契約期間＝令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年）
- ⑤パートナーの事業概要＝道路改良、河川、上下水道、治山、土地改良、橋梁補修、舗装工事などを手掛ける建設事業者です

参考

渋川市におけるネーミングライツ導入実績

- (1) 渋川市総合公園陸上競技場（施設愛称：瑞穂建設スタジアム）
 - ・契約相手方（パートナー）＝瑞穂建設株式会社
 - ・ネーミングライツ料＝年額50万円（税別）
 - ・契約期間＝令和3年10月1日～令和7年3月31日（3年6カ月）
令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年）

- (2) 渋川市武道館（施設愛称：宮田商会武道館渋川）
 - ・契約相手方（パートナー）＝株式会社宮田商会
 - ・ネーミングライツ料＝年額60万円（税別）
 - ・契約期間＝令和5年1月1日～令和8年3月31日（3年3カ月）

- (3) 渋川市赤城総合運動自然公園（施設愛称：木暮組 スポーツパーク赤城）
 - ・契約相手方（パートナー）＝株式会社木暮組
 - ・ネーミングライツ料＝年額40万円（税別）
 - ・契約期間＝令和5年1月1日～令和8年3月31日（3年3カ月）

- (4) 渋川市子持社会体育館（施設愛称：JESCOアリーナ渋川）
 - ・契約相手方（パートナー）＝JESCO SUGAYA株式会社
 - ・ネーミングライツ料＝年額60万円（税別）
 - ・契約期間＝令和7年1月1日～令和12年3月31日まで（5年3カ月）

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：スポーツ課（電話0279-22-2241）

課長 荒木 忠（内線4957）

スポーツ振興係長 永井 智大（内線4967）

渋川子ども歌舞伎教室の参加者を募集します

渋川市は、地域で保存・継承されている伝統文化である歌舞伎の普及と後継者育成支援を目的として、今年で21年目を迎える「渋川子ども歌舞伎教室」の参加者を募集します。

活動の成果として、上三原田の歌舞伎舞台「創建者150年大遠忌公演」内での発表を予定しています。

1 概要

渋川市は、地域で保存・継承されている伝統文化である歌舞伎の普及と後継者育成を目的として、「渋川子ども歌舞伎教室」を開催しています。平成18年に県が主催した「子ども歌舞伎教室」から始まったこの事業は、今年で21年目を迎えます。市は、多くの子どもたちに歌舞伎を体験してもらい、地域の伝統文化への関心を高めてもらうために、令和8年度渋川子ども歌舞伎教室の参加者を募集します。

- 2 練習日 令和8年5月17日(日)、31日(日)、6月14日(日)、28日(日)、
7月5日(日)、26日(日)、8月2日(日)、16日(日)、
9月6日(日)、13日(日)、10月4日(日)、17日(土)、31日(土)
※計13回程度を予定(10月31日(土)は発表会のリハーサル)
※時間は午後1時30分～3時30分
※場合によって追加・変更されることがあります

- 3 練習会場 渋川公民館ほか

4 発表会(予定)

渋川市民総合文化祭歌舞伎発表会(上三原田の歌舞伎舞台「創建者150年大遠忌公演」内での発表を予定しています)

- (1) 日時 令和8年11月8日(日)
(2) 会場 上三原田の歌舞伎舞台

- 5 講師 山島 玲子氏、鶴澤 蟻鏡氏、松村 悠輔氏

6 参加対象

渋川市内に在住又は在学する小学3年生から中学2年生までの児童及び生徒を原則としますが、次の人は参加対象とします。

- (1) 中学3年生以上で、前年度から継続して参加する等、過去に参加経験がある人
※18歳を迎える年度まで
(2) 小学3年生未満かつ参加者のきょうだいで、講師が認める人
(3) 渋川市内在住又は在学ではないが、参加を講師が認める人
※参加人数に余裕がある場合に限る

- 7 参加費 1人3,000円
※練習に必要な浴衣などは各自で準備

8 申込方法

- (1) 申込フォームからの申込み
(2) 参加申込書に必要事項を記入して、郵送(〒377-8501・渋川市石原80)、FAX(0279-22-2132)または直接持参で生涯学習課(渋川市役所第二庁舎内)へ
※申込フォーム及び参加申込書は市ホームページにあります

参考

1 渋川こども歌舞伎について

平成18年、群馬県主催の『ぐんま子ども歌舞伎フェスティバル』の公演に当たり、県内でも歌舞伎などの伝統芸能が盛んな渋川市で「子ども歌舞伎教室」が開催されました。この教室に参加し、歌舞伎を体験した子どもたちの「もっと歌舞伎をやってみよう」という声を受け、渋川市の伝統芸能である「歌舞伎」を次世代に伝える後継者の育成と、その振興を目指す団体として、「渋川子ども歌舞伎」が平成19年に結成されました。

2 近年の実施状況

(1) 令和元年度

①参加者数＝8人

②演目＝絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閑居の場

③発表の場＝上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭、渋川市民総合文化祭

(2) 令和2年度

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

(3) 令和3年度

①参加者数＝8人

②演目＝菅原伝授手習鑑増補 松王下屋敷

③発表の場＝新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

(4) 令和4年度

①参加者数＝9人

②演目＝絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閑居の場

③発表の場＝渋川市民総合文化祭、ぐんま伝統歌舞伎の祭典、上三原田の歌舞伎舞台2022

(5) 令和5年度

①参加者数＝8人

②演目＝鎌倉三代記 絹川村閑居の場

③発表の場＝渋川市民総合文化祭、ぐんま伝統歌舞伎の祭典

(6) 令和6年度

①参加者数＝7人

②演目＝伽羅先代萩 御殿の場

③発表の場＝渋川市民総合文化祭

(7) 令和7年度

①参加者数＝8人

②演目＝絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閑居の場

③発表の場＝渋川市民総合文化祭、ぐんま伝統芸能の祭典

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟 (内線4930)

担当：生涯学習課 (電話0279-22-2500)

課長 木暮 美由紀 (内線4950)

生涯学習係長 村尾 洋明 (内線4954)

渋川子ども歌舞伎教室 参加者募集！



渋川子ども歌舞伎教室は、今年で21年目を迎えます！
 毎年、みなさんと同じ世代の参加者が、サムライやお姫
 さまになって舞台上で活躍しています。初めてでも、大丈
 夫！専門の先生がていねいに教えてくれるので、心配あり
 ません。みなさんの参加をまっています！



歌舞伎教室での安全対策について

- 水分補給の飲み物は、各自ご持参下さい。
- 練習中の万一の「けが」にそなえて傷害保険にはいります。



渋川市教育委員会

渋川子ども歌舞伎教室

渋川子ども歌舞伎教室 令和8年度参加者募集案内

渋川市には、県内に現存する伝統歌舞伎団体の約半数である3座が集まっており、国指定重要有形民俗文化財の「上三原田の歌舞伎舞台」もあるなど、「歌舞伎」と深い縁があります。

市教育委員会では、この伝統文化である「歌舞伎」を、たくさんのお子たちに体験してもらおうと、経験豊富な先生方に指導していただく「渋川子ども歌舞伎教室」を開講しています。

<p>◆対象 市内に在住または在学の小学3年生～中学2年生の児童、生徒 (ただし、前年度からの継続または過去に参加経験がある場合や、小学3年生未満かつ参加者の兄弟であって講師が認める場合は参加可能です。ほか、参加人数に余裕があり講師が認める場合などの例外あり。)</p> <p>◆参加料 一人3,000円(練習に必要な浴衣などは各自準備をお願いします。)</p> <p>◆講師 山畠玲子先生・鶴澤蟻鏡先生・松村悠輔先生(県内外の歌舞伎団体の指導をされています。)</p> <p>◆練習 令和8年5月～令和8年10月の土曜日・日曜日の午後を中心に約2時間(午後1時30分～3時30分)全13回(予定)※リハーサル含む</p> <p>◆会場 渋川公民館(7月26日のみ渋川西部公民館)</p> <p>◆発表会 渋川市民総合文化祭歌舞伎発表会(予定)</p>	<p>◆申込方法 二次元コードから申込みまたは下記申込書にご記入の上、事務局まで直接持参するか、FAXまたは郵送してください。 申込締め切り：4月30日(木)</p> <p style="text-align: center;">~~~~~</p> <p style="text-align: center;">《令和8年度活動予定》</p> <p>【説明会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：5月17日(日)午後1時30分 ・会 場：渋川公民館 <p>【練習】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">5月</td> <td style="width: 35%;">17日(日)</td> <td style="width: 35%;">31日(日)</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>14日(日)</td> <td>28日(日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>5日(日)</td> <td>26日(日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>2日(日)</td> <td>16日(日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>6日(日)</td> <td>13日(日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>4日(日)</td> <td>17日(土)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>31日(土)※リハーサル</td> <td></td> </tr> </table> <p>【発表会】：11月8日(日)(予定)</p>	5月	17日(日)	31日(日)		6月	14日(日)	28日(日)		7月	5日(日)	26日(日)		8月	2日(日)	16日(日)		9月	6日(日)	13日(日)		10月	4日(日)	17日(土)				31日(土)※リハーサル	
5月	17日(日)	31日(日)																											
6月	14日(日)	28日(日)																											
7月	5日(日)	26日(日)																											
8月	2日(日)	16日(日)																											
9月	6日(日)	13日(日)																											
10月	4日(日)	17日(土)																											
		31日(土)※リハーサル																											

事務局：〒377-8501 渋川市石原80番地(渋川市役所第二庁舎)

渋川市教育委員会生涯学習課生涯学習係

電話 0279-22-2500 FAX 0279-22-2132



二次元コードからも申込みができます



FAXで送信する場合は切り取らないでください。

「渋川子ども歌舞伎教室」参加申込書

(ふりがな) 氏 名		保護者 氏 名	
学校名・学年	学校	年	生年月日 年 月 日
住 所	〒	TEL	(自宅) - -
			(携帯) - -

申込日：令和 8年 月 日

三国脇往還白井宿第33回彌酔の句会を開催します

白井宿の町並みや八重桜などにちなんだ俳句を投句してもらう「三国脇往還白井宿第33回彌酔の句会」を、白井宿八重ざくら祭りと同日の4月19日(日)に開催します。

1 目的

三国街道の脇往還である白井宿の先人の営みに触れる機会として、県内外の俳句に興味のある人たちに参加を呼びかけて「彌酔の句会」を開催します。この句会は、地域文化振興と多くの人々との交流の場とし、活力ある明るい豊かなまちづくりを目的とするものです。

2 概要

参加者は、白井宿にて吟行し、宿の町並みや堰、八重桜や同日開催の令和8年度八重ざくら祭りにおける六斎市、武者行列の様子などにちなんだ俳句を2句投句します。

投句された句から、選者が大会大賞・群馬県知事賞・群馬県俳句作家協会会長賞・渋川市長賞・渋川市議会議長賞など各賞を選句し、表彰を行います。

3 開催日 令和8年4月19日(日)
※受付は、午前9時～正午

4 会場 受付＝渋川市地域福祉センターこもちの湯
受付及び吟行＝白井宿

5 参加資格

俳句に興味のある方であればどなたでも参加できます。

吟行句は未発表作品に限ります。

投句のための筆記用具（ボールペン）をお持ちください。

6 参加費

(1) 一般（高校生以上）＝1,000円

(2) 小・中学生＝500円

※句集代・送料等として、当日受付にて徴収します

7 表彰及び句集

(1) 選句は選者が行います

(2) 各賞受賞者には賞状を、参加者全員に句集を後日郵送（7月下旬頃を予定）します

(3) 大会大賞作品は、句碑になり白井宿に設置されます

8 選 者

- ・中里 麦外 氏（群馬県俳句作家協会顧問、群馬県現代俳句協会顧問、言霊俳句会主宰）
- ・木暮陶句郎 氏（ひろそ火主宰、群馬県俳句作家協会会長）
- ・山本 素竹 氏（彌酔の句会実行委員会会長）

参考

直近の開催状況

- ・平成31年（第27回）：参加者97人
- ・令和2年（第28回）：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
- ・令和3年（第29回）：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止
- ・令和4年（第30回）：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期
- ・令和5年（第30回）：参加者73人
- ・令和6年（第31回）：参加者71人
- ・令和7年（第32回）：参加者73人

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）

課長 木暮 美由紀（内線4950）

生涯学習係長 村尾 洋明（内線4954）

資料14

「第38回小野上温泉まつり」を4月29日(水・祝)に開催します

第38回小野上温泉まつりを、4月29日(水・祝)に開催します。伝統の湯くみの儀から始まり、地域の子どもたちによる山車上でのお囃子のほか、郷土芸能公演、歌謡ショーなどが行われます。

1 目 的

小野上温泉の県内外への観光PRと、交流拠点と地場産業を生かしたまちづくりを展開するため、小野上温泉センターをメイン会場に小野上温泉まつりを開催します。

小野上温泉まつりは、旧小野上村で昭和59年度に塩川温泉まつりとして開催されてから、今年で38回目を迎えます。温泉利用者への感謝とPRなどを目的として始まったイベントですが、現在は、小野上地区の人口減少と高齢化が進む中で、地域の活性化や交流の場として重要な行事となっています。

2 開 催 日 令和8年4月29日(水・祝) 午前9時30分～午後4時

3 場 所 小野上温泉センター駐車場

4 内 容

- (1) 湯くみの儀：午前9時30分～
- (2) 山車お囃子：午前10時20分～、午後1時15分～
- (3) 村上太々神楽：午前10時35分～
- (4) 中尾獅子舞：午前11時00分～
- (5) カラオケのど自慢：午前11時25分～
- (6) 歌謡ショー：午後0時25分～、午後2時～
- (7) 上州小野上温泉太鼓：午後1時30分～
- (8) 抽選会：午後3時05分～
- (9) その他

フリーマーケットの他、オープンテラスでは小野上地区を中心とした特産物・農産物・加工品・花木及び交流のある神津島の海産物の販売を行います。

また、小野上温泉センターを午前9時から午後6時まで無料開放します。

※上記プログラムのタイムスケジュールは、都合により変更する場合があります

5 駐 車 場

小野上温泉公園駐車場、ゲートボール場、川添工業(株)小野上工場駐車場に駐車可能です。

※駐車は係員の指示に従ってください

6 主 催 小野上温泉まつり実行委員会

参考

過去5回の小野上温泉まつり来場者数

- (1) 令和3年度：新型コロナウイルスの影響により中止
- (2) 令和4年度：新型コロナウイルスの影響により中止
- (3) 令和5年度：3,300人
- (4) 令和6年度：3,500人
- (5) 令和7年度：3,900人

■問い合わせ先

商工観光部 部長 柴田 宏 (内線4899)

担当：観光課 (電話0279-22-2873)

課長 高橋 巧 (内線4880)

観光振興係長 藤井 隆 (内線4881)